

ID

氏名

年齢

科名

病棟

エンドキサン大量療法 (50 mg/kg)

疾患名 多発性骨髄腫

(末梢血幹細胞採取前治療)

主治医

指導医

HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()

スケジュール

	day 1	day 2	day 3	day 4
エンドキサン(シクロfosファミド) 50 mg/kg/回	↓	↓		
ウロミテキサン(メスナ) 50 mg/kg×0.4	↓↓↓	↓↓↓		

【注意】 * 1日の尿量が3000 mL以上になるように化学療法開始前日より輸液を行う。

* シクロfosファミド投与時は出血性膀胱炎予防目的でメスナを点滴する。

メスナの1回投与量(mg)は、シクロfosファミド1日投与量(mg)の40%量とする。

メスナの点滴は、シクロfosファミド投与開始時、4時間後、8時間後の3回行う。

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

Day 1 抗がん薬投与1時間半前にアプレピタントカプセル (125mg) 1Cを内服

- ① 生食 500mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② パロノセトロン 0.75mg + デキサメタゾン 9.9 mg + 生食 100 mL
点滴静注 30分 (200mL/時間)
- ③ エンドキサン + 生食 500 mL 点滴静注 180 分 (167 mL/時間)
- ④ ウロミテキサン + 生食 50 mL 点滴静注 30分・④の点滴を開始した時
ウロミテキサン + 生食 50 mL 点滴静注 30分・④を開始した 4時間後
ウロミテキサン + 生食 50 mL 点滴静注 30分 ④を開始した 8時間後
- ⑤ オランザピン 5 mg 1錠 1×タ 内服 (※糖尿病患者は禁忌)

エンドキサン大量療法(50 mg/kg)

Day 2

- ① 生食 500mL にて血管確保
- 維持(20 mL/時間)
- ② パロノセトロン 0.75mg + デキサメタゾン 9.9 mg + 生食 100 mL
- 点滴静注 30分 (200mL/時間)
- ③ エンドキサン + 生食 500 mL
- 点滴静注 180 分 (167 mL/時間)
- ④ ウロミテキサン + 生食 50 mL
- 点滴静注 30分・④の点滴を開始した時
- ウロミテキサン + 生食 50 mL
- 点滴静注 30分・④を開始した 4時間後
- ウロミテキサン + 生食 50 mL
- 点滴静注 30分 ④を開始した 8時間後

Day 2, 3 アプレピタントカプセル 80 mg 1C 1×朝 内服

Day 2 - 4 オランザピン 5 mg 1錠 1×夕 内服 (※糖尿病患者は禁忌)

Day 3, 4 デキサメタゾン 4 mg 2錠 2×朝昼 内服

	Day1	Day2
月 日	/	/
エンドキサン 開始時刻	↓	↓
ウロミテキサン 開始時刻(1回目) 開始時刻(2回目) 開始時刻(3回目)	↓	↓
確認		